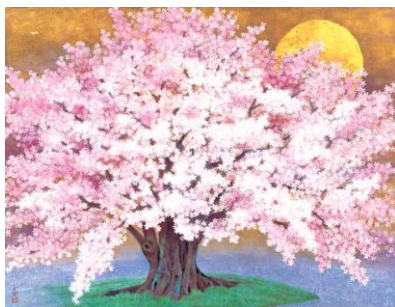


口や足で筆をとる画家たち、その表現は一人ひとり

日本画家・南正文と世界の画家たち 約50点を安曇野で展示

「日本画家 南正文と口と足で描く世界の画家たち 安曇野展」10月8日開幕

口と足で描く芸術家協会（東京都新宿区 日本の代表者：松澤 雅美）は、一般社団法人 南正文よろこびの種（奈良県天理市 代表者：南弥生）とともに、2026年10月8日（木）から12日（月・祝）まで、長野県安曇野市の安曇野高橋節郎記念美術館にて、「日本画家 南正文と口と足で描く世界の画家たち 安曇野展」を開催します。本展では、小学3年生の時の事故で両腕を失い、口に筆をくわえて描き続けた日本画家・南正文（1951～2012）の作品と、日本を含む世界各地の「口と足で描く芸術家協会」の画家たちによる作品、約50点を展示します。



「活きる」日本画 南 正文



南 正文（大阪府／口で描く画家）

「白鳥と少女」油彩画
ワレリー・シエバタロフ
（ポーランド／口で描く画家）

二つの空間で出会う、南正文と世界の画家たち

会場では、隣接する二つの展示空間を使用。「主屋」では南正文の日本画を、「南の蔵」では世界各地の画家たちの作品を展示します。

画家たちに共通するのは、病気や事故などにより両手の自由を失い、口や足に筆をとっていること。しかし、描くテーマや技法、色彩、表現は一人ひとり異なります。

「どうやって描いたのか」という驚きの先にある、一人ひとりの画家の表現。

日本画から洋画、水彩、色鉛筆など、国や文化を越えて広がる多彩な作品世界をご覧ください。

【開催概要】

展覧会名：絵画展 日本画家 南正文と口と足で描く世界の画家たち 安曇野展

会期：2026年10月8日（木）～12日（月・祝）時間 9:00～17:00 ※最終日は15:00まで

会場：安曇野高橋節郎記念美術館 主屋・南の蔵 （長野県安曇野市穂高北穂高408-1）

入場：無料 展示：約50点

主催：一般社団法人 南正文よろこびの種

共催：口と足で描く芸術家協会

後援 長野県、長野県教育委員会、安曇野市、安曇野市教育委員会

同時開催 | ドキュメンタリー映画「天から見れば」上映

南正文の人生と創作を描いたドキュメンタリー映画を上映します。

※ チケット1,000円 エコバッグ付きプレミアムチケット3,000円 / 1日2回上映（10:00～11:30、13:00～14:30）

日本画家 南正文（みなみ まさのり） | 作家プロフィール

1951年大阪府堺市生まれ。小学3年生の時、事故で両腕を失う。中学2年生で口筆画家・大石順教尼に師事し、口に筆をくわえて日本画を学ぶ。1975年、口と足で描く芸術家協会会員に。制作活動とともに講演や海外支援にも取り組みんでいた。2012年永眠。生涯で約900点の作品を残した。

口と足で描く芸術家協会（MFPA）

病気や事故などで両手の自由を失った画家たちが、口や足で創作活動を行う国際的な組織です。1957年に設立し、70年を迎えた現在、世界約70の国と地域で約740名の画家が所属しています。協会は「Self-Help, Not Charity（慈善ではなく、自立）」という理念のもと活動しています。

「本件に関するお問い合わせ」 口と足で描く芸術家出版有限会社 担当：田川

TEL：03-3267-2890 FAX：03-3267-5766 e-mail：tagawa@mfpa.co.jp